

森しんいち議会報告

私の友人の娘婿が、先日コロナウイルス感染症で30代の若さでお亡くなりになりました。とてもショックです。ご冥福をお祈り申し上げます。

7月31日現在、西東京市の累積感染者数は2,155人、小平市は1,485人、東久留米市は884人、清瀬市は510人。コロナウイルス感染症は死に至る病です。一人ひとりの意識が重要です。責任のある行動を心掛けましょう。



スパアを取るぞ!

7月11日(日)、久米川ボウルで開催された本都後継者対策委員会、青年部合同企画のボウリング大会に家族で参加させてもらいました。

去年から色々ないイベントが中止になっていて、仲間の顔を見る機会もほとんどない難しい状況でしたが、今回のイベントでは久しぶりに集まった仲間たちの変わらぬ笑顔を見るのができ、嬉しい一日でした。

そして肝心の結果、スコアの方は...妻が女性部門で賞品を頂き、子供たちも参加賞を握りしめて帰りました。私は来年に期待です。



久しぶりに集まってとっても楽しかった!!

青年技能競技大会

東京都大会が8月22日(日)に行われます。建設ユニオンから4名が参加予定です。YouTubeでライブ配信されますので、興味のある方はご覧ください。



8/22(日)
8:00~17:00
ライブ配信!

東京ではまたコロナ感染者が増加しています。また次に集まれるのはいつになるのだろうと、少し寂しい気持ち

ですが、少しでも繋がりを持ち続けて、組合の仲間たちとともにこの状況を生き延びるぞー!と思いました。(三浦 真)

今回は平和について考えてみた。全建総連綱領(1960年)の第一に「日本の平和と民主主義を守るために総力を結集する」とあります。ものを破壊する手いと、ものを作り上げる建設業は全く相いれられないものではありせん。ここに平和産業である所以があります。

当時、組合員の多くは戦争を生き延びた世代であり、家族を七くした人もあったに違いない。不戦と誓う第9条を持つ日本国憲法は敗戦に至る反省の上に誕生しました。



平和を願って

全建総連では原爆死没者の中に建設労働者も多かったことから、全国の仲間のカンパにより1988年、広島と長崎に慰霊碑を建立し1年ごとに慰霊祭と職人のつどいを開催しています。ユニオン結成以来、慰霊祭には代表派遣し青年部も2007年に代表派遣を実現、2009年には報告会として「青年平和のつどい」を開きました。

シリーズ⑥

組合と平和

あなたにとって
組合って
なんですか?

2015年9月19日、日本の進路を変更する安全保障関連法案の強行採決によって成立しました。国会前では時に10万人を超える連日の反対行動の中で事態が激化した。戦争への道を開く暴挙として記憶しなくしてはなりません。以後毎月19日に「私たちあまうめない」と今日まで行動が続けられていることをお伝えしたい。

これを転機に「青年平和のつどい」を本部主催の「ユニオン平和のつどい」に格上げし、有志による「戦争をさせない建設ユニオン9条の会」を結成させました。

以前に紹介した職人憲法の前文を思い出していただきたい。「住宅は人間の生命と健康、尊厳を守りやすらぎと秩序を保障するもの、その子育ての場、大切な家族とともに暮らす」との信頼と愛情が結びついた場所です。改めず「あなたにと、組合ってなんですか。」

【伊東 昇】